

# 安全 第一

## 外壁修繕工事が始まりました

建設委員会 坂東稔文

昨年より計画していた外壁工事が六月二十六日より始まりました。本来であれば、五月の信者大会で皆様に説明を行ったのち工事に入る予定でしたが、新型コロナウイルスにより信者大会を実施できず、この場をお借りして皆様に工事の内容と予定をお伝えすることにより、信者大会の説明の代わりとさせて頂きたいと思えます。

今回の修繕工事は財政の問題もあり、一九五六年に献堂された教会を百年使い続けるために、建物基礎となる外壁を現状より劣化させないことを目的に、クラック補修やコンクリートの浮き状態を補修するとともに、外壁塗装により外壁を保護する工事を行います。

外壁の状態がどうなっているかの本格的な調査はこれからとなりますが、足場を立てつつ外壁の状態を簡単に確認して頂いたところ、塔を中心になんりの量のコンクリートの浮きとクラックが確認されており、もう少し早い段階で補修を行う必要があったのではないかと個人的には感じています。

今回の補修で全周に足場を立てるため、補修工事に合わせてステンドグラスの保護として取り付けられている劣化が激しい、ガラス外側のアクリル板の交換と、過去に雨漏りの原因となった雨樋周辺の補修を併せて実施する予定です。

工事は、七月上旬までに足場の組立が完了し、七月末までに外壁の補修と洗浄、八月から九月上旬にかけて塗装を行い、足場解体を経て九月末を目標に完了させる予定です。しかし、梅雨の関係で工程が少し遅れており、今後も天候の関係で遅れが発生する可能性があります。十月中旬までには完了する予定となっています。

外壁塗装の色については、現状のイメージを大きく変えない様に

配慮しつつ、泥や雨だれによる汚れが長期的にも目立たない色で塗装したいと考え、複数のカラーシミュレーションを建設委員会で行い、教会委員会にて決定し、サレジオ会に報告させて頂きました。(写真①参照)費用については、今回の工事全体として約二五〇〇万円掛かり、昨年の信者大会時の建設資金の半分弱を使うこととなっております。聖堂を百年間使い続けるためには今後も大小の修繕を行いつつ現状を維持する必要があり、これからも皆様の建設献金を必要としておりますので、引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。



↑ 7月2日の聖堂正面の様子



写真① 完了後のイメージ  
(イメージ写真では黄色が強くなっておりませんが、実際の塗料は現状の色と余り変わらない色を選択しています。)

工事期間中の好天と  
作業員の方の安全を

一緒に祈り下さい

